

夏休みにアメリカミネソタ州へ21日間

糸屋 奈津紀さん（大館高校2年）

私は、アメリカ人の気さくな雰囲気、超高層ビルやオシャレな家々、広大な土地、電線の目立たない空、相手を思いやるマナーや自我意識の高さなどにひかれ、アメリカへ行くことが大きな夢でした。

空港へ着くと「メンター」といって私たちとほぼ毎日行動を共にし、面倒を見てくれる人たちが迎えてくれました。授業では日本語を使っていけなかったり、午前中に習ったことを午後実践したりと、なか

アメリカ人であることに誇りを  
持っていてすごく尊敬しました。

なか厳しく刺激的な内容でした。

生のアメリカの文化に触れ、毎日が新鮮で充実したものとなりました。自分の英語力のなさに落ち込んだり、その場に溶け込めなかったりと、ときどき辛いこともありましたが、そのたびにメンターや友達に慰められてとても助けられました。

今、私の新たな夢は、たくさん英語を勉強してもう一度アメリカへ行き、今回伝え切れなかったことを伝えるに行くことです。



さよならパーティーでホストファミリーと  
（一番左が糸屋さん）

### 助成を利用するには

対象

中学生以上のかたが参加する、

国外での国際交流研修

個人、団体は問いませんが、観光を主な目的とする旅行は対象になりません。また、夏季休業中に実施されている「秋田県高校生海外研修」も対象となります。

助成金の額 対象経費の3分の1

対象経費とは交流研修にかかる受講料、通訳料、教材費、渡航費用、国外滞在にかかる宿泊料、移動費をいいます。  
限度額 1人の場合10万円  
2人以上だと

（10万円×人数+100万円）を8で割った額

その他

帰国後、結果報告、助成金を使用した領収書の写し、交流が分かる写真、簡単な感想文を提出してください。助成を受けるかたには年度ごとに限りがあります。

申し込み受け付け

研修実施日の14日前までに、企画振興課にある申請書類に記入のうえ提出してください。

今年度の募集は定数に達したため終了しています。来年度も引き続き助成を行う予定です。4月以降に国外で交流・研修を予定しているかたは、この制度をご利用ください。

企画振興課 ☎49 3111（内線268、269）

### 日本のエネルギーはどしているのか

質問されました。

技術交流などを通して、諸外国との交流親善と環境保護の大切さを学ぶため「ワールド・ソーラーカー・ツアー・マレーシア2002」にあらがね号で参戦しました。マレーシアは多民族国家のため、共通したもののづくりを進めています。また、環境保護の問題を取り上げ、この大会を国主催で開催しているそうです。

環境保護については、各国のごみ問題として韓国では日本と同じよう

9月にマレーシアへ6日間

沼田 錦幸さん（ソーラーカー実行委員会代表）

に分別収集していました。また、インドネシアではすべてのごみを強い火力で燃やしているため「すす」が飛んできて洗濯物が汚れるなどの公害があることを聞きました。エネルギーについて、マレーシアでは石油などがあるが日本ではどうしているのか質問されました。

身振り手振りや、顔の表情などでの会話ではありましたが、とても楽しく有意義な体験ができました。

